

## 1 概要

## 1.1 開催趣旨

九州地方に甚大な被害をもたらした平成15年7月の梅雨前線豪雨の土砂災害について、国土技術政策総合研究所、東京大学、九州地方整備局、土木研究所等では、災害の実態を把握するとともに、今後のより効果的な被害軽減対策を検討するために種々の調査を実施してきた。

そこで、これらの調査結果をもとに、本年の梅雨期を含めた今後の土砂災害対策に反映すべき点を抽出し、土砂災害による被害の軽減に資することを目的とする。

なお、土砂災害について官・学で連携し、各々の得意分野を活かした共同の調査団を結成し、成果をとりまとめるのは今回が初めてである。

## 1.2 開催日時及び開催場所

日時 平成16年6月4日（金）13:30～17:00

場所 弘済会館（東京都千代田区麴町5-1）

## 1.3 開催主体

【主催】国土技術政策総合研究所、東京大学大学院情報学環・学際情報学府（廣井研究室）、九州地方整備局、独立行政法人土木研究所

【後援】財団法人砂防・地すべり技術センター

## 1.4 参加人数

国	38名
地方公共団体	29名
大学・財団法人等	36名
民間コンサルタント	31名
計	134名

## 1.5 プログラム

### 1. 開会挨拶 13:30～13:40

廣井 脩（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授）

杉浦 信男（国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター長）

### 2. 調査報告（発表各 10 分、質疑応答全体 20 分） 13:40～15:10

#### ①平成 15 年 7 月九州豪雨災害の概要

判田乾一（国土交通省九州地方整備局 河川部建設専門官）

#### ②国土交通省レーダー雨量計データによる豪雨実態把握

山越隆雄（独立行政法人土木研究所 土砂管理研究グループ研究員）

#### ③水俣市宝川内地区集川および太宰府市原川で発生した土石流の実態

水野秀明（国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター主任研究官）

#### ④太宰府市原川における流木の発生・流下・堆積の実態

田中秀基（独立行政法人土木研究所 土砂管理研究グループ主任研究員）

#### ⑤平成 15 年 7 月九州地方豪雨時における水俣市の防災体制の実態

野呂智之（国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター主任研究官）

#### ⑥2003 年水俣水害一住民アンケート調査から一

中村 功（東洋大学社会学部 教授）

#### ⑦住民意識調査の概要（ヒアリング）

中森広道（日本大学文理学部 助教授）

休 憩 15:10～15:30

### 3. 総合討論（パネルディスカッション：90 分） 15:30～17:00

座 長：

小山内信智（国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター 砂防研究室長）

パネラー：

海堀 正博（広島大学総合科学部 助教授）

久保田哲也（九州大学大学院 助教授）

笹原 克夫（独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ 上席研究員）

判田 乾一（国土交通省九州地方整備局河川部 建設専門官）

廣井 脩（東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授）

水野 秀明（国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター 主任研究官）

### 4. 閉会